

問 事業系ごみ収集車の待機に係る費用は

答 毎日開設すると想定し年間約1千万円



太谷正治議員

問 事業系ごみの集積場の計画は。

村長 パッカー車積替え式を導入することについて意見統一がなされたので、その方向で進めたいと考えます。

問 パッカー車の待機場所の予定地は。

村長 現在のごみ焼却場跡の1か所を予定、関係機関と協議を進めたいと考えます。

問 新リサイクルセンターの運用を早期に行うべきでは。

村長 早期の運用ができるよう広域連合に働きかけを行っていきます。

問 事業系ごみ袋を含めたごみの料金は。

村長 広域連合内で検討中であり、まだ結論はでていません。

【観光について】

問 グリーン期における外国人経営の宿泊施設の営業休止に対する村の取り組みは。

村長 宿泊施設の営業については、経営者の判断によります。営業休止はそのエリアの活気が失われ望ましい状況ではありませんが、民間事業者の経営に干渉できないのが現状です。宿泊施設や飲食店・小売店など通年営業できる環境を整えることが解決策となります。

問 八方尾根マスタープランの取組に村の協力は。

村長 三水会、索道事業者が中核となり策定委員会が設置され、スキー場とベースとなる住民や観光事業者、双方にとっても有意義となるマスタープラン策定に取り組んでこれたことはお聞きしました。また、白馬観光開発(株)から村に対して八方再生プランに基づく現状報告があり、名木山ゲレンデ周辺の整備構想に関する開発規制や農業振興地域での転用に対する法の規制、道路・河川の活用等に対する相談があります。

問 グリーン期でのアウトドアの取り組みについて

村長 キャンピングやラフティングなど、河川を利用したアクティビティは、自然のままでの利用は、河川を占有するようなものでない限り、自由使用の範囲内で提供することができですが、法令順守と安全管理の徹底を呼びかけます。

問 マウンテンバイク、ロードバイクへの取り組み

村長 国内外の自転車が人気の高まりをみせており、グリーンシーズンでの観光の素材としてHAKUBA VALLEY索道事業者協議会でも受入体制の整備、誘客と展開を目的に検討会が設けられています。



ハイタッチで応援！トレイルラン

【農地の再整備について】

問 北城地域の農地の整備計画は。

村長 地権者・農業者から要望のあるオリソニック道路沿い、深空、八方口を中心に北城の南部地域での事業導入を計画し、事業説明会やアンケートを行います。新田地域でも要望があります。